

【松原市】市制 60 周年記念行事

2 月 1 日、松原市において市制施行 60 周年記念式典が開催されました。当日は、松原市と SC 友好協定を結んでいる



台湾台北市文山区からもお祝いに駆けつけ、同区にある私立静心国民中小学校 (ISS に取組んでいます) の吹奏楽



部による演奏なども披露されました。

また、今回の市制 60 周年を記念した記念映画と PR アニメーションが披露されました。その

中では SC も松原市の特徴の一つとしてとして取上げられています。この映画は、松原市の市のウェブサイトでも視聴できるそうです (<http://www.city.matsubara.osaka.jp/index.cfm/17,53999,42.html>)。また、アニメーションについても、5 月ごろから順次アップされるとのことです。

【小諸市】年間報告書についてヒアリング

2 月 2 日、小諸市において年間活動報告書の提出を受け、支援センターからの外部評価として、1 年間の取組み状況の確認及び今後の進め方等についてお伺いしました。

まず、SC を担当されている総務課から全体的な進捗状況等についてご説明をいただいた後、各対策委員会の事務局から 1 年間の活動についてご説明いただきました。2012 年 12 月に認証されてから 2 年が過ぎました。対策委員会で進められている取組みも次第に定着しているなか、次の認証に向けて中間点を迎える 2015 年には、取組みの成果についてしっかりと確認してくことをアドバイス差し上げました。

【秩父市】対策委員会出席と事務局打合わせ

2 月 4-5 日、秩父市において各対策委員会の会議に出席し、進捗状況をみせていただきながら、アドバイス等を差し上げました。秩父市は、「高齢者安全」「交通安全」「子どもの安全」「災害時安全」「犯罪予防」「自然の中での安全」の 6 つの対策委員会があります。2 つの対策委員会が同時に開催され、JISC も 2 手に分かれて参加しました。

昨年の専門家による現地指導でいただいたアドバイスを参考にしつつ、秩父市の実情と課題にあった取組みについて検討し、取組みを進めています。対策委員会によって進捗状況も様々ですし、カラーもできてきました。2015 年度の SC 認証申請に向けて、地域の方たちが主体者としてさらに積極的に取組みを進めていかれることを期待しています。

【朋友小】ISS 大会で活動報告

2 月 7 日、豊島区朋有小学校において、土曜公開授業の中で ISS 集会を行われました。



セーフスクール活動のシンボルである「セーフマン」の司会により、この 1 年間の活動とその成果が報告されました。中にはクイズ形式のものもあり、聞いている側も楽しみながら安全活動の成



果を共有できるよう工夫されていました。また、地域住民の皆さんと保護者が連携して

作成した安全マップの発表もありました。

最後にはセーフスクールパフォーマーとともにセーフスクールソングを合唱し、閉会となりました。



【亀岡市 ISS】申請書の準備を始めています

2 月 9 日、亀岡市において、ISS に取組む市立保育所 8 園が集まり、昨年 11 月の現地指導でパク・ナムス先生からいただいたアドバイスを踏まえた活動の進捗状況の取りまとめと申請書の素案をもちより、協議を行いました。

パク先生からは、データから出てきた「課題」と「取組み」とその「評価」がどうつながっているのか、それがクリアに見えることが大切であるとアドバイスをいただいていた。今回、もちよった申請書の素案となる部分は、そのアドバイスが反映されるとともに、活動自体も着々と積みあがっていると感じました。各保育園においては、日々、忙しい業務のなかで ISS の取組みを進められる一方で、データなどを読み込み、工夫して資料を作られていることがうかがえました。

【甲賀市】対策委員会事務局調整会議

2月8日、甲賀市で対策委員会事務局調整会議が行われ、JISCも出席しました。2015年度に予定しているSC認証審査に向けて各対策委員会の事務局が取組みの進捗確認を報告し、今後の予定について確認しました。

年度末が近づき、対策委員会の中には次年度に委員が何人か交代される場合もあります。また、事務局のメンバーが異動によって変わる場合もあります。新年度に入り、新たなメンバーを加えた体制で取組みをスムーズに展開していく前に、現時点での進捗状況を確認し、課題等を共有する良い機会となりました。

【泉大津市】対策委員会ワークショップ



2月12日泉大津市で4回目の対策委員会のワークショップが開催されました。これまでの2回で主観的課題と客観的課題を出し合いました。主観的課題は、日頃の生活のなかで感じる問題点なので、委員の皆さんも比較的にわかりやすかったようですが、客観的課題

については、見慣れないデータなどをみて判断するため、難しいと感じた方も少なくなかったため、今回は、客観的課題について再度おさらいしたうえで「マイトップスリー（自分が考える「最も改善しないといけないこと」3点）」について考えました。

次回からは、いよいよ対策委員会としての重点課題についての議論が始まります。



【北本市】日本で10番目SC認証

2月14日、北本市においてSC認証式典が執り行われました。北本市は、2012年1月にSC着手の宣言をしました。以来、約2年半の期間をかけて取組みを積み重ね、昨年11月の現地審査を経て、この度、日本で10番目のSCとなりました。

北本市は、新しい認証の仕組みで認証審査を受けた



日本で最初のコミュニティです。これから申請・審査を控えている自治体にとっても北本市の認証までの道のりはよい参考となるでしょう。

認証式典は、新しい庁舎のホールにおいて開催されました。まず、第一部のシンポジウムでは、審査員パイ・ル氏、チョ・ジュンピル氏からは、それぞれ台湾と韓国のSC活動の在り方について紹介いただきました。続いて、国内事例として十和田市の「セーフコミュニティ十和田を進める会」の代表である新井山洋子氏が市民団体の立場からSC活動について紹介されました。



第二部の認証式では、市長はじめ市の代表4名と審査員2名、支援センター代表による合意書への署名によって北本市のSC認証が確定

し、タテと旗の授与が行われました。

認証式典には、SCに取り組む他の自治体や北本市民が多数同席しており、北本市の認証をともに喜ぶことができました。また、会場の周辺にはSCに取り組む自治体の活動がパネルで展示されており、日本におけるSC活動の広がりが感じられました。

今回、北本市では認証を記念してセーフコミュニティの活動をわかりやすくまとめた冊子を作成しました。認証式においても、参加者への記念品の一つとして配布されましたが、これまでの歩みが非常にわかりやすく説明されていると好評でした。



【JISC】第4回日本SC定例会

2015年2月15日、北本市市役所において第4回SC定例会が開催されました。定例会は、1年間の国内外のSCの動向に関する情報提供とともに、次年度の予定の調整をする場として、JISCがSC支援センターとして認証されて以来、2011年度から毎年度末に開催しています。

今回の主な報告は、世界で初めてSC認証されたリードシェーピングが5回目の認証を記念して開催された国際会議とそれに伴って



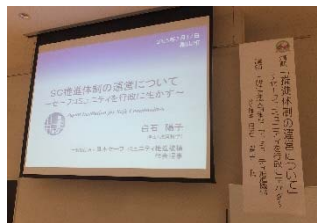
開催された国際 SC ネットワーク代表者会議での議論の概要、2013 年度から順次導入されてきたオンライン申請制度について説明をしました。

加えて、来年度に認証及び再認証の申請を控えている4つのコミュニティの現地審査及び認証式典等の希望日程等について調整をおこないました。



【郡山市】職員研修会を開催

2月17日、福島県郡山市において、部長・課長職以上の職員約60人を対象に「SC推進体制の運営について」と題してお話をさせていただきました。まず、SCの概要について簡単に触れたのち、「推進協議会」「対策委員会」「外傷サーベイランス委員会」など関連組織の設置意義、各事務局の役割及び効果的な運営についてご説明しました。



市長が日頃から機会があるごとに「オール郡山」でSCを進める旨をお話されているということで、職員の方たちはある程度のことはすでにご存じであるとのことでした。そのため、SCはこれまでの行政の事業と別途行うのではなく、いかに日常業務のなかにSCを盛り込んでいくか、行政の事業をより効果的・効率的に展開するためのツールとしていかにSCを活用いただくか、などについてお話ししました。



【厚木市】ISS&SCともに着実に前進！

2月18-19日、厚木市において、ISS及びSCの取組みに対する進捗状況の確認を行いました。

まず、18日は、ISSに取り組んでいる睦合東中学校において、各種取組みを展開する一方で進めている申請書の作成状況とその内容について確認しました。先生方が申

請書を作成するなかで疑問に思ったことなどを一つずつ示していただき、一緒に検討していきました。

また、SCについても、2015年度に再認証に向けて申請の準備を進めている対策委員会の取組み状況の確認と効果的な評価のための指標の設定をおこないました。各対策委員会事務局とSCご担当者



とJISCの3者で時間をとり、各対策委員会の事務局から活動の目標と内容を説明いただきながら、一つひとつ指標を確認していきました。

【北本 ISS】中丸小・宮内中でリハーサル

2月20日、北本市では、ISSに取り組んでいる市立中丸小学校と宮内中学校において約2週間後に迫っている現地審査にむけてリハーサルをおこないました。



中丸小学校では、当日は、校長先生をはじめ教員、児童、PTA、地域の方たちのリレー形式での報告を準備しているということで、リハーサルでは子どもたちと先生方が本番さながらに担当部分を報告しました。子どもたちは、自分たちの報告が英語で通訳されることから、やや緊張していましたが、それでも大きな声で取組みを報告できました。

小学校の後には宮内中学校にお伺いし、同様にリハーサルを行いました。ちょうど受験シーズンのため、生徒も先生もお忙しいなか時間はあまり避けませでした



が、当日に向けて準備した資料をもとに報告のリハーサルを行うとともに当日の運営方法について教育委員会やSCご担当ともに確認しました。

【鹿児島市】外傷サーベイランス委員会

2月25日、鹿児島市において外傷サーベイランス委員会がおこなわれました。

今回は、対策委員会が2014年に実施された現地指導において専門家より指摘された事項について、どのように検討し、対応しているか、その状況について各事務局か

ら説明を受けました。そのうえで、それぞれの立場から意見やアドバイスがありました。

続いて、鹿児島市における労働災害の状況について労働基準監督局から説明をいただきました。労働基準監督局からは、外傷に関してどのような情報を収集しているか、またどのような外傷予防対策が行われているか、などを学ぶことができました。これらの情報は、労働安全においてどんな情報が活用可能なのか、また、どう取組みレベルで連携できるのかなどを今後検討していく際に参考になります。



【富士見台小 ISS】6年生を送る会

2月26日、豊島区立富士見台小学校において、六年生を送る会が開催されました。当日は、六年生が全校生徒の前に立ち、各学年から卒業のお祝いを受けました。その後、六年生はこれまでリードしてきた委員会活動について、思い出とアドバイスとともに下級生に引き継ぎを行いました。そのなかで、セーフスクール活動についても、マスコットキャラクターの「フジミー」と「アイミー」とともにセーフスクールの活動のバトンがしっかりと渡されました。



当日は、児童だけでなく地域の方や保護者も参加しており、中には、わが子の成長に涙する保護者の姿も見られました。

【十和田市】再認証式典が催されました

2月27日、十和田市において SC 再認証式典が市民文化センターで行われ、全国のセーフコミュニティ推進自治体や市民など約 600 人が出席しました。

まず、第一部の基調講演では、JICS 白石から「セーフコミュニティの新たな可能性 ～一人ひとりが安全なまちづくりの主演～」と題して、十和田市民一人ひとりが SC の

主演として、自分のことからアクションを起こすことが大切であることをお話しました。

その後、みきの保育園の年長組のみ

なさんが交通事故予防の誓いを行い、市立第一中学校の生徒による「奉仕の心(志)日本一」活動が紹介されました。最後に、シンガーソングライター桜田マコトさん、セーフコミュニティとわだをすすめる会によるセーフコミュニティの歌がお披露目されました。



その後、ステージ上で対策委員会同席のもと、十和田市長、審査員(2名)、SC 支援センターによる合意書への署名が行われ、正式に十和田市の再認証となりました。

また、セーフコミュニティ再認証式典に併せて、「安全・安心展」が開催

され、他自治体の SC 活動がパネルで紹介されていました。また、交通事故予防体験コーナーが設置されたり、身近な防災用品や家庭内の事故・けが予防グッズ等も展示されており、住民が身近にできる安全対策について考える機会が提供されました。



【お知らせ】

第 22 回世界セーフコミュニティ会議

《テーマ》

草の根活動の関与: コミュニティレベルでの安全向上におけるグローバルビジョンへの第一歩

《日時》2015 年 11 月 22～25 日

《開催地》 タイ ナン州 ナン市

《URL》 <http://www.nansafecom2015.com/>

※ 日本の旅行代理店から「バンコクでのナンへの飛行機の乗り継ぎはない」と言われた方があるとお伺いしていますが、国内線として「Nok Air」と「Air Asia」が運航されています。